

施策評価(令和元年度)

1 基本項目

基本目標	3	ふれあいと活力のあふれるまち
基本施策	1	とものつくる住みよい地域社会の実現
施策	16	防犯
基本方針		
行政、市民、事業者およびNPO法人などが連携した防犯体制の充実を図り、犯罪のないまちを目指します。		

2 事後評価結果

計画事業名	進捗状況	妥当性 (必要性)	効率性 (手法)	有効性 (成果)	今後の 方向性
特殊詐欺対策の強化	計画を見直し完了	A	A	A	現状のまま継続
街路灯の整備	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
防犯活動の支援と連携の強化	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続

3 施策評価結果

<p>施策16「防犯」では、3事業について評価を実施した。</p> <p>進捗状況については、「特殊詐欺対策の強化」は、自動通話録音機が当初予定数を上回る申し込みがあり、台数を追加したことから「計画を見直し完了」とし、その他の事業については、「計画どおり完了」としている。</p> <p>各事業における妥当性(必要性)、効率性(手法)、有効性(成果)については、すべてA(適切なもの)と評価している。</p> <p>本施策の基本方針は、「防犯体制の充実を図り、犯罪のないまちを目指す」ことであり、「特殊詐欺対策の強化」では、自動通話録音機の設置を普及することで、詐欺等の被害を未然に防止することにつながっているほか、「防犯活動の支援と連携の強化」では、市民パトロールなどの主体的な防犯活動を支援し、各種防犯等関係団体と連携により、犯罪発生件数の減少につながっているものと捉えている。</p> <p>また、「街路灯の整備」では、街路灯のLED照明への取替え等を実施したことにより、交通安全対策と防犯対策に一定の効果を発揮し安心安全なまちづくりに寄与するなど、上記の取組みを通じて、施策に掲げた基本方針の達成に向けて着実な推進が図られたものと評価する。</p>
--

1.基本項目		作成部署		市民生活部		防災安全課	
事業名		開始年度		実施期間		事業種別	
00 特殊詐欺対策の強化		平成 27 年		継続		自治事務(市独自)	
		年				直営	
01		年					
02		年					
03		年					
04		年					
05		年					
関連課		産業振興課					
基本目標3 ふれあいと活力あふれるまち		施策区分		16 防犯		管理No. 1	

2.事業の概要

施策の基本方針	行政、市民、事業者およびNPO法人などが連携した防犯体制の充実を図り、犯罪のないまちを目指します。
事業内容	特殊詐欺等の犯人からの電話に対し、自動通話録音機を活用して被害を未然に防止します。
根拠法令	
条例	
要綱等	羽村市特殊詐欺対策における自動通話録音機貸与事業実施要綱

3.実施計画

Plan【計画】	平成30年度(現況)	3か年計画		
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業内容 事業量等	自動通話録音機購入 (300台)		自動通話録音機購入 (200台)	
	自動通話録音機無償貸与 の実施 平成30年度貸与台数 112台(平成30年12月末現 在)	同左 貸与台数目標 150台	同左 貸与台数目標 100台	同左 貸与台数目標 100台
		特殊詐欺対策の検討	同左	同左

4 投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成30年度(現況)		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	600H	1人	600H	1人	600H	1人	600H
主事・主任職	1人	640H	1人	640H	1人	640H	1人	640H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成30年度(現況)	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業費	1,987	10	1,352	10
人件費(係長職)	2,884	2,884	2,884	2,884
人件費(主任・主事職)	2,020	2,020	2,020	2,020
総事業費(合計)	6,891	4,914	6,256	4,914
国庫支出金				
都支出金	1,977		1,342	
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	4,914	4,914	4,914	4,914
財源内訳(合計)	6,891	4,914	6,256	4,914

③コスト計算

ア 市民 55,565 人における1人あたりのコストは、 88 円
 イ 対象者 55,565 人における1人あたりのコストは、 88 円
 ウ 成果(物) の 出来高 における1 のコストは 円
 ※ 対象者:

Do(実行)

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無 <input checked="" type="checkbox"/>	有 <input type="checkbox"/>	指示事項・改善内容
--	-------------------------------	-----------

②活動実績

平成31年3月に自動通話録音機について、マスコミで取り上げられたことにより、当初の予想を上回る貸与の希望が3月以降に発生し、今年度中の不足が見込まれたため、令和元年9月議会において補正予算を計上し、自動通話録音機122台を購入した。
また、特殊詐欺の手口は日々巧妙化しており、新たな手口も発生することから、特殊詐欺対策の調査・研究を行った。

③投入実績

決算の内訳 (単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	10	726	736	735	99.9%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	600 H	1人	600 H
主事・主任職	1人	640 H	1人	640 H

④事業量(活動量)

実施計画	⇒	今年度実績
○自動通話録音機無償貸与 150台 ○特殊詐欺対策の検討		○自動通話録音機無償貸与 179台 ○特殊詐欺対策の検討

Check(評価)

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要性) <input type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効(手法)率性 <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ()	A
有(成果)効性 <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input checked="" type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

特殊詐欺等の犯人からの受電対策として、警告メッセージと録音機能により犯人に通話を断念させ、被害を未然に防止することにより、特殊詐欺等の被害の抑制につながっている。

Action(改善)

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

【今後の取組方針】

特殊詐欺被害は、絶えず発生していることから、引き続き自動通話録音機の無償貸与を実施するとともに、特殊詐欺の調査・研究を進め、特殊詐欺対策の強化に努める。

1.基本項目		作成部署		都市建設部			土木課
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト	
00 街路灯の整備			年				
01	街路照明施設改修工事(取替)	平成 26 年	その他	自治事務(市独自)	業務委託(一部)	○	
02	道路照明灯設置工事(新設)	不明 年	継続	自治事務(市独自)	業務委託(一部)	○	
03	街路照明灯修繕(補修)	不明 年	継続	自治事務(市独自)	業務委託(一部)	○	
04							
05							
関連課							
基本目標3 ふれあいと活力あふれるまち		施策区分	16	防犯	管理No.	2	

2.事業の概要

施策の基本方針	行政、市民、事業者およびNPO法人などが連携した防犯体制の充実を図り、犯罪のないまちを目指します。
事業内容	街路灯の計画的な点検・補修・整備により、犯罪発生を抑制します。また、新たな街路灯の設置について、検討します。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成30年度(現況)	3か年計画		
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業内容 事業量等	街路灯の取替、新設、補修	同左	同左	同左
	街路灯(LEDへの取替) 13基	同左 255基	同左 240基	同左 172基
	街路灯(LEDの新設) 5基	同左 5基	同左 5基	同左 5基

4 投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成30年度(現況)		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	2人	8H	2人	8H	2人	8H	2人	8H
主事・主任職	2人	450H	2人	450H	2人	450H	2人	450H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成30年度(現況)	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業費	6,141	33,886	31,640	23,752
人件費(係長職)	77	77	77	77
人件費(主任・主事職)	2,840	2,840	2,840	2,840
総事業費(合計)	9,058	36,803	34,557	26,669
国庫支出金	1,800	17,000	17,000	14,000
都支出金	230	250	250	250
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金	2,800	3,100		
起債				
一般財源(人件費含む)	4,228	16,453	17,307	12,419
財源内訳(合計)	9,058	36,803	34,557	26,669

③コスト計算

ア 市民 人における1人あたりのコストは、 円
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円
 ウ 成果(物) の 出来高 における1 のコストは 円
 ※ 対象者:

Do(実行)

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無 <input checked="" type="checkbox"/>	有 <input type="checkbox"/>	指示事項・改善内容
--	-------------------------------	-----------

②活動実績

市民や防犯パトロール等からの連絡により、207件の街路灯修繕を実施するとともに、「道路照明灯施設における省エネルギー型機器導入に関する整備計画」に基づき、羽加美三、四丁目、羽中一、二、三丁目の街路灯270基について、LED照明への取替を実施した。また、市民等からの街路灯の設置要望のあった91箇所について、夜間調査を実施し、特に交通安全及び防犯上必要な箇所にLED照明を4基新設した。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	33,886	1,000	34,886	34,515	98.9%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	2人	16H	1人	8H
主事・主任職	2人	900H	2人	450H

④事業量(活動量)

実施計画	⇒	今年度実績
○街路灯の取替、新設、補修 ○街路灯(LEDへの取替) 255基 ○街路灯(LEDの新設) 5基		○街路灯の補修 207基 ○街路灯の取替(LED) 270基 ○街路灯の新設(LED) 4基

Check(評価)

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥当性(必要性) <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効率性(手法) <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ()	A
有効性(成果) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

「道路照明灯施設における省エネルギー型機器導入に関する整備計画」に基づき、街路灯のLED照明への取替え等を実施し、交通安全と防犯対策の上で、一定の効果を発揮していると考えている。

Action(改善)

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

【今後の取組方針】

街路灯の計画的な点検・整備を行い、歩行者・自転車及び自動車の夜間通行の安全・安心な道路利用と犯罪発生を抑止を図る。また、街路灯のLED化を実施し、整備計画に基づき維持管理経費と電気料の削減を図る。LED照明への取替えは、計画に基づき実施する。

1.基本項目	作成部署	市民生活部		防災安全課	
事業名	開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00 防犯活動の支援と連携の強化	不明	年	継続	自治事務	業務委託(一部)
01		年			
02		年			
03		年			
04		年			
05		年			
関連課					
基本目標3 ふれあいと活力あふれるまち	施策区分	16	防犯	管理No.	3

2.事業の概要

施策の基本方針	行政、市民、事業者およびNPO法人などが連携した防犯体制の充実を図り、犯罪のないまちづくりを目指します。
事業内容	各種防犯関係団体が交代制で重点的にパトロールを実施する年末防犯・交通安全・火災予防パトロール週間に取り組むとともに、市民パトロールなどの主体的な防犯活動を支援します。また、市民パトロールセンターを拠点に、各関係団体の活動が効率的に行えるよう連携の強化を図ります。
根拠法令	
条例	羽村市防犯、交通安全及び火災予防に関する条例
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成30年度(現況)	3か年計画		
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業内容 事業量等	NPO法人市民パトロールセンターはむらによる、パトロールセンターの運営支援	同左	同左	同左
	防犯等関係団体連絡会の開催 2回	同左 2回	同左 2回	同左 2回
	年末防犯・交通安全・火災予防パトロール週間の実施 1回	同左 1回	同左 1回	同左 1回

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成30年度(現況)		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	560H	1人	560H	1人	560H	1人	560H
主事・主任職	1人	440H	1人	440H	1人	440H	1人	440H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成30年度(現況)	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業費	9,814	9,797	10,027	9,797
人件費(係長職)	2,692	2,692	2,692	2,692
人件費(主任・主事職)	1,389	1,389	1,389	1,389
総事業費(合計)	13,895	13,878	14,108	13,878
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	13,895	13,878	14,108	13,878
財源内訳(合計)	13,895	13,878	14,108	13,878

③コスト計算

ア 市民	55,565	人における1人あたりのコストは、	250	円
イ 対象者	55,565	人における1人あたりのコストは、	250	円
ウ 成果(物)		の出来高		における1
※ 対象者:				のコストは

Do(実行)

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無 <input checked="" type="checkbox"/>	有 <input type="checkbox"/>	指示事項・改善内容

②活動実績

NPO法人市民パトロールセンターはむらによる、パトロールセンターの運営支援を行うとともに、情報の共有化を図り、市民パトロールを行った。
 また、福生警察署、防犯協会と連携し、年金支給日に市内金融機関で振り込め詐欺防止キャンペーンを実施したほか、夏まつり、防犯啓発活動を行った。
 防犯等関係団体連絡会は2回開催し、年末防犯・交通安全・火災予防パトロール週間には、小作駅東口においてパトロール出発式を行った。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	9,797	-	9,797	9,756	99.6%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	560 H	1人	560 H
主事・主任職	1人	440 H	1人	440 H

④事業量(活動量)

実施計画	⇒	今年度実績
○NPO法人市民パトロールセンターはむらによる、パトロールセンターの運営支援 ○防犯等関係団体連絡会の開催 2回 ○年末防犯・交通安全・火災予防パトロール週間の実施 1回		○NPO法人市民パトロールセンターはむらによる、パトロールセンターの運営支援 ○防犯等関係団体連絡会の開催 2回 ○年末防犯・交通安全・火災予防パトロール週間の実施 1回

Check(評価)

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥当性 (必要性) <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効率性 (手法) <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ()	A
有効性 (成果) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input checked="" type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

市民パトロール、振り込め詐欺防止キャンペーンや年末防犯・交通安全・火災予防パトロールなどの防犯活動を実施することで、犯罪の抑制につながっている。

Action(改善)

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

【今後の取組方針】

市民パトロールを支援するとともに、福生警察署及び各種防犯関係団体との連携の強化に努め、防犯体制の充実に向けて取り組んでいく。